## 海外渡航前「必須」の6つのポイント



## ① 外務省「海外安全ホームページ」を確認しましょう!

(https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html)

「危険情報」及び「感染症危険情報」のほか、渡航先国・地域から帰国する際の水際対策(帰国時の自宅待機が必要か?)についても、必ず確認してください。

## ② 東京海洋大学「海外渡航安全ガイドブック」を熟読しましょう!

(<a href="https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/upload-file/5af373e5c7610effee30953e977f7a67314d58e6.">https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/upload-file/5af373e5c7610effee30953e977f7a67314d58e6.</a>
<a href="pdf">pdf</a>)

## ③ 「一時帰国・海外渡航届」を提出しましょう!

<提出先> 品川キャンパス: 国際・教学支援課留学生係

(表 © TEL03-5463-4052 | 越中島キャンパス:学生支援係

TEL 03-5245-7316 ← 様式はこちらから



入学時に加入した「学研災」及び「学研災付帯賠償責任保険(付帯賠責)」や、クレジットカード付帯の旅行保険だけでは、全ての病気・事故等はカバーされないので、 海外旅行保険に必ず加入しましょう。

なお、加入する保険の適用範囲は事前にしっかりと確認しておきましょう。

⑤「在留届」(滞在期間 3 か月以上)の提出、又は「たびレジ」(滞在期間 3 か月未満)への登録を忘れずに!

(https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html)

<u>6 現地で新型コロナウイルスに感染した場合や陽性反応が出た場合</u> の対策をしっかりと準備・検討しておきましょう!

特に短期の渡航において、渡航中に感染した又は陽性反応が出た場合は、陰性 になるまで日本へ帰国する航空便には搭乗できません(帰国便を新たに確保する 必要あり。)。 また、宿泊先から延泊を断られ、陰性になる(帰国可能となる)まで の宿泊先に困るケースも発生しているので、渡航前に対応策の検討が必要です。